

**研究者：**和田 伊代、五木田彩名、明本 菜穂、竹中ななせ、  
丸山 彩葉、西嶋 さき、番場ゆかり、増田 愛子、  
豊福明日香（北海道大学歯学部 冒険歯科部）  
滝波 修一（冒険歯科顧問）、幾島 章仁（三国歯科ハノイ分院長）

**研究題目：**ベトナムのハノイ市及びその周辺の歯科事情と学校検診による  
学童の現状把握

**目的：**

日本国内（大学内）の教育で、十分且つ適切に理解できない途上国の実情を、その国の歴史や  
宗主国との関係の見聞等も加えて、的確に把握する。

**対象および方法：**

ベトナムの首都ハノイ及びダナン地区

【対象と方法 -1】 三国歯科分院長へのインタビューによる、ベトナムの歯科教育・現状などの情  
報入手

【対象と方法 -2】 ダナン地区に於ける、ベトナム独立戦争及びベトナム戦争の戦跡と史跡の見聞

【対象と方法 -3】 ハノイ市内の Ban Mal 小学校の全校児童への歯磨き指導と 2、3 年生の歯科検診

**結果および考察：**

結果 -1：

[幾島先生へのインタビュー]

メモが無いので、内容は任せます：滝波

ベトナムの歯科医師教育システムは？

先生の歯科治療を見て学ぶ。座学などは自分で勉強する。なお国家試験などはない。南の方  
の大学はそれがより顕著で、中心部との技術の差は開くばかり。

ハノイ市や周辺の歯科治療レベルは？

見学に行った三国歯科医院はすごく清潔でしっかりしていた。しかし、そうでない消毒もし  
なければ器具は汚れだらけといった歯科医院もあるらしい。

歯科器材の供給

自国であまり研究が進んでないので、歯科材料や器具などは海外から輸入して使う。

市民の歯科・口腔衛生観念の状況は？

ハノイ近辺の人は乳歯はボロボロなことが多いが、永久歯は齲蝕がないことが多い。これは  
川にフッ素が含まれていることが関係すると考えているらしいが、乳歯には効かない理由は  
分からないらしい。

ベトナムの人はプライドが高いと言われており、歯医者ということにプライドをすごく  
持っている。そのため、患者と医者との関係は平等ではなく医者の方が立場は上である。ま

た、歯科衛生士はおらず技工士もあまりいない。田舎には入学試験もない学校もあり、その上国家試験もないので歯科医師になるのはかなり簡単である。歯医者になってから初めて見る器具があつたりもするらしい。

結果 -2:

ベトナム渡航前には、ダナン・フエ地区は独立戦争や南北ベトナムの戦争の激戦地であつて、元宗主国のフランスにとって第2のダンケルクと認識されており、戦跡や史跡から現在に至る歴史がしのばれると期待していた。しかし旅行ガイドブックのとおり、戦いの痕跡は見られず、現代的で快適なリゾート・観光地となつていた。結果として「空振り」であつた。

結果 -3:

- (1) 2年生 92名 (男/女: 56/36)、3年生 68名 (男/女: 22/46) の口腔検診を行った。
- (2) 全校児童約 800人に歯磨き指導を行った。

ベトナムでも知られているドラえもん (ドラモン) のマンガの紙芝居を使って行った。全校児童対象に一斉に行ったので、所謂“ウケた”けれど、詳細がどこまで伝わったかは判定できなかった。

検診結果：2年生

清掃状態 歯垢の付着 なし: 57 軽度: 31 中程度: 4	(A)う歯数		(B)処置歯数	
	(A)児童数	(B)歯数(永久歯数)	(A)児童数	(B)歯数(永久歯数)
0	16	23 (6)	11	2 4 (0)
1	11	35 (6)	12	0
2	8	24 (1)	13	1 0 (0)
3	4	11 (1)	14	0
4	11	18 (2)	15	0
5	9	27 (0)	16	2 2 (0)
6	10	10 (0)	17	0
7	9	8 (1)	18	0
8	6	9 (2)	19	0
9	4	6 (2)	20	1 2 (1)
10	2	4 (1)		

検診結果：3年生

清掃状態 歯垢の付着 なし: 46 軽度: 20 中程度: 2	(A)う歯数		(B)処置歯数	
	(A)児童数	(B)歯数(永久歯数)	(A)児童数	(B)歯数(永久歯数)
0	14	23 (0)	11	2 1 (0)
1	5	28 (1)	12	0
2	5	6 (0)	13	1 1 (0)
3	3	5 (0)		
4	6	13 (0)		
5	6	7 (1)		
6	12	15 (4)		
7	5	4 (0)		
8	5	5 (1)		
9	3	3 (0)		
10	1	0 (0)		



#### 考察の省略：

結果-1については、現地で活躍する日本人歯科医（北大の先輩）の感想であるので、インタビューの内容の紹介に止めることとした。

また、結果-3-（1）の検診結果は、比較的経済的に恵まれた児童の多い学校の混合歯列初期児童が対象であるので、集計結果のみを報告して考察は行わないこととした。